

## 祖母からの言葉

京都府 京田辺市立大住中学校一年 計 柚希

「あなたは自分の心を整えなさい。」

これは夏休みにお墓参りに祖母から言われた言葉です。僕は、夏休みにお墓参りをするために祖父母の家に来ていました。宿題に真面目に取り組まず、そんな自分に嫌気がさしていたときでした。祖母の言葉を聞いた時、正直意味がよく分かりませんでした。

この言葉を言われた前日、僕は家族、祖父母とお墓参りに行きました。バケツに水をくんでから、みんなでお墓の前につくと、祖母はお墓の両脇に供えてあった一対の花を取り出しました。枯れている花の部分だけを取り除き、買ってきた新しい花を加えました。高さや向きを丁寧に何度も整えていました。枯れ葉の浮いていた水の入替えは僕が手伝い、これで準備が終わったと思いきや、今度は祖母がビニール手袋を取り出し、祖父と一緒に草むしりやごみ拾いを始めました。それから、ご先祖様の水受けを

ブラシできれいにこすり、たっぷりの新鮮な水を注いで、ようやくお墓が整いました。整ったお墓を見ると、供えられた花の中心にあったひまわりが、太陽に照らされて輝いていました。水の掛けられた墓石は、空と雲を反射させて青白く光り、僕の心はおだやかになりました。

次の日の朝、自分が使った敷布団を畳んでいると、祖母に、

「もう一度、端と端を合わせてきちんと畳みなさい。」

と言われました。僕は正直、「面倒くさいなあ」、  
「なんでこのままではいけないのだろう」と思いました。けれども、祖母が畳んだ敷布団の山は、きれいにそろえられていて、積み重ねてもゆらくこともせず崩れ落ちる心配もありませんでした。僕も祖母に言われた通りに畳んでみると初めの時よりも、も

っときれいになりました。積み上げるとよりきれいに見え、積み終えた時は清々しい気持ちになりました。もし、僕が最初に畳んだ敷布団をそのまま積み重ねていたら、きっと布団の山は崩れ落ち、もう一度畳み直す気持ちにはなれなかったと思います。

祖母と過ごした二日間で祖母が言ってくれた、「あなたは自分の心を整えなさい。」

という意味がよく分かりました。

「気持ちを整える」という事は「気持ちを落ち着かせて、物事を丁寧に行うこと。そうすれば自然と自分の気持ちがおだやかになり物事がうまくまわる」という意味だと思います。僕はこれからの生活の中で、この言葉を忘れず、心をおだやかにし、次回祖母に会う時に、成長した姿を見せられるように頑張ります。

